

CONTENTS

- 2 情熱の奥州人
- 4 笑顔あふれる健康なまちへ -健康おうしゅう 21 プラン策定-
- 8 栄冠を手にした選手の横顔を紹介 -第60回県中学校総合体育大会-
- 12 奥州三大マラソン大会で爽やかな汗を
- 13 ILC希望のひかり
- 14 結-ゆい- ~ 30 の地区振興会による協働のまちづくり実践事例~ 「衣川地区振興会」
- 15 市の出来事から
- 16 まちの話題
- 18 つながれ 広がれ NPOの輪「賢治街道を歩く会」
- 20 子そだて広場
市長コラム「おうしゅう羅針盤」
- 21 地域安全情報
わが家のアイドル
子ども喜ぶ人気メニュー「胆沢区愛宕保育園」
- 22 キラリ人輝く
夢トーク
- 23 クラブ紹介「若柳中学校・女子バスケットボール部」
ぼんたのつぶやき
- 24 くらしの情報
- 28 奥州遺産「猿岩」(胆沢区)

〈今月の表紙〉



第8回前沢区小学校水泳記録会(市小学校体育連盟主催)が7月26日、前沢B&G海洋センタープールを会場に開催されました。区内7小学校の5、6年生が、それぞれの種目に分かれ、力強い泳ぎでタイムを競いました。
来年4月には、区内小学校が1校に統合。小学校対抗としては最後の記録会でした。真剣な表情の選手たちは、父母や友人からの声援を受け、最後まで精一杯泳ぎました。



小学生が楽しく学べるように工夫しながら英会話を指導



35

子どもたちが楽しく学ぶ それが自分自身の喜び

菅原 幸子さん (53歳)
|| 衣川区天田 ||



すがわら・さちこ◎昭和34年一関市赤荻生まれ。小学校英語指導者の資格を持ち、自宅で英会話を指導している。3人の息子はすでに親元を離れ、現在は、夫と2人暮らし

野山に囲まれた豊かな自然の中に、菅原幸子さんの自宅はある。幸子さんは、その自宅を週2日、小学生に英会話指導を行っている。
高校では英語クラブに所属していた幸子さん。専門学校で、本格的に英会話を学んだ。その後、東京の貿易会社に就職。タイピストとして、英文入力の仕事に励んだ。
昭和60年、目標としていた海外生活へ。ニュージーランドとオーストラリアで1年間暮らし、現地の学校にも2カ月通った。その後、ヨーロッパにも足を運び、実戦で語学力を身に付けた。
一関の実家に戻ったのは27歳のとき。周囲の勧めで、子どもたちに英会話を指導することに。当時は、参考となる

本なども少なく、手探りの指導。苦悩の日々が続いた。
平成元年、結婚を機に活動の拠点を衣川区へ。夫の転勤で、釜石市に移り住んでも、英会話指導を続けた。「バックパッカーとしての海外生活を思い返すことで、東日本大震災も精神的に乗り越えることができた」と幸子さんは当時を振り返る。
震災後、間もないうちに衣川区に戻った。しばらくして英会話の指導を再開した幸子さんは「続けることに意味がある。今までの経験を生かせるものはこれしかない」と力を込める。「教えることが自分の喜び。子どもたちの成長とともに、自分自身も向上したい」と熱い気持ちで、これからも子どもたちと向き合う。

※バックパッカー…低予算で国外を個人旅行する旅行者のこと